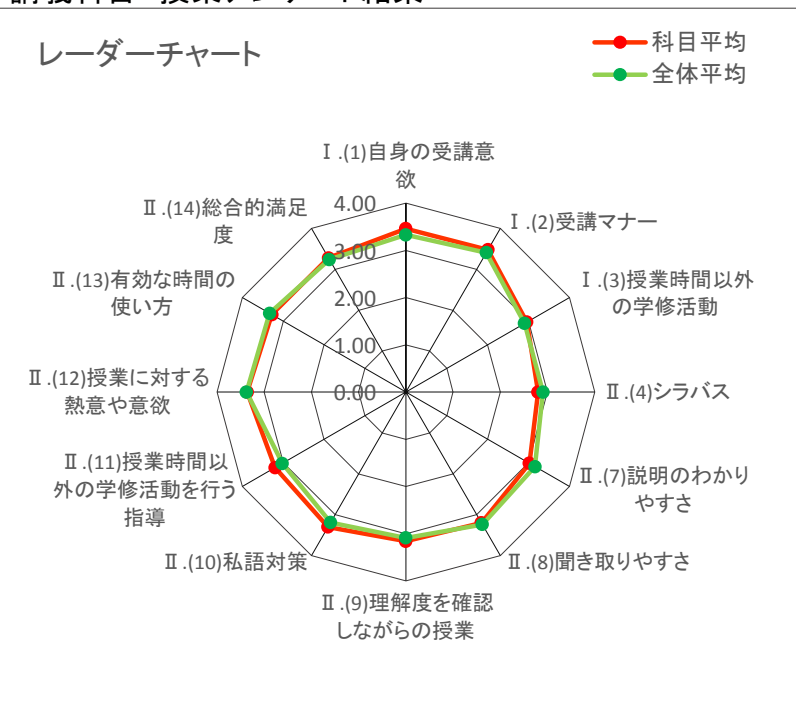
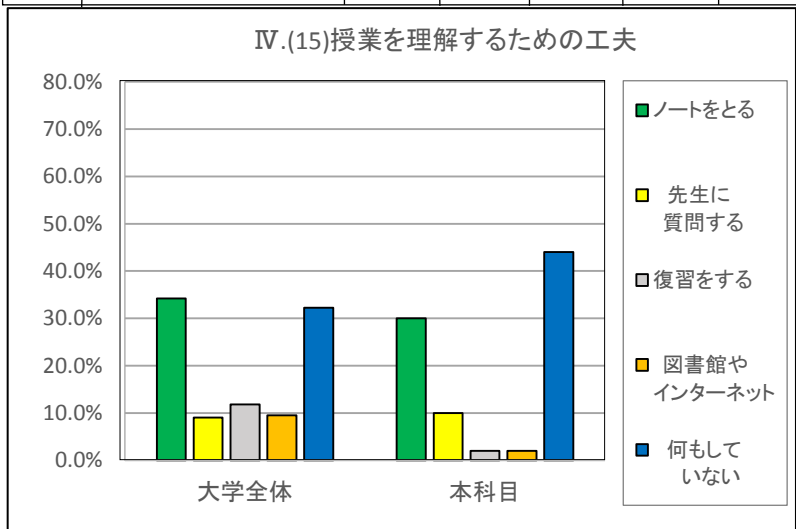


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	30.0%	10.0%	2.0%	2.0%	44.0%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	12103
科目名	社会の理解
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.46	3.33
	I.(2)	3.48	3.41
	I.(3)	2.96	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.80	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.02	3.16
	II.(8)	3.20	3.24
	II.(9)	3.16	3.09
	II.(10)	3.30	3.19
	II.(11)	3.20	3.03
	II.(12)	3.36	3.38
	II.(13)	3.28	3.33
	満足度	II.(14)	3.28

①授業計画の達成度について
 昨年度と異なり、今年度はA・Bクラスの編成が教員希望者と非希望者に分けられなかったため、非常に授業がやりやすく受講意欲が高かった。計画の達成向上を図るために、教科書の内容の要点を毎回レジメとパワーポイントの併用を行ったので、教員側からすれば、計画の達成度には満足のいくものであった。

②授業の進め方について
 授業の進め方で、昨年度と変えたのは、講義10回で教科書を終わることが出来たので11回から14回までを、授業ビデオの視聴(現職教員の授業)とその際に使用された学習指導案を活用しながら、授業分析を行った。学生の声として記述されたものを挙げると、「教育現場では、どのような社会科授業が行われているのかが、よく理解できた」というものや私が厳しく指導したことに際して学生は、それが良かったと評価してくれていた。授業者としては、今年度双方向性の授業つまりアクティブラーニングが実践できたと思っている。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 アンケートの中に「全てが不満」という記述が、1名あったことは非常に残念なことであった。そしてマークを入れるところは全てにわたり(そう思わない)に黒色のマークを入れていた。このような学生がいるので、アンケートも記名式にすべきである。授業者としては、彼に対して”何が不満”であったのかを直接聞きたいものである。そして、お互いが前向きに考えていきたいと思う。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.30	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.17	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.28	3.24
III.(14)		